

令和元年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量

— 西洋なしの収穫量は前年産に比べ7%増加、—
— かきは前年産並み、くりは同5%減少 —

【調査結果の概要】

1 西洋なし

結果樹面積(注)は1,450haで、前年産に比べ20ha(1%)減少した。

収穫量は2万8,900t、出荷量は2万5,500tで、前年産に比べそれぞれ2,000t(7%)、1,800t(8%)増加した。

2 かき

結果樹面積は1万8,900haで、前年産に比べ200ha(1%)減少した。

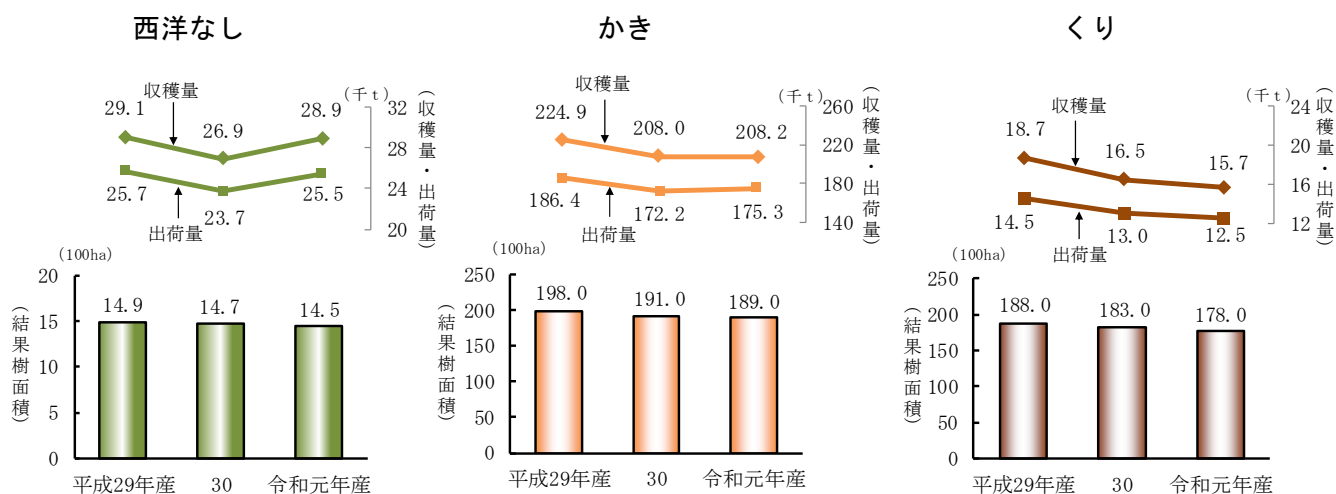
収穫量は20万8,200tで前年産並みとなり、出荷量は17万5,300tで、前年産に比べ3,100t(2%)増加した。

3 くり

結果樹面積は1万7,800haで、前年産に比べ500ha(3%)減少した。

収穫量は1万5,700t、出荷量は1万2,500tで、前年産に比べそれぞれ800t(5%)、500t(4%)減少した。

図1 西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量(全国)



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

1 西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 22 年産	1,640	1,600	26,200	23,200
23	1,590	1,670	26,600	23,300
24	1,570	1,500	23,600	20,700
25	1,560	1,740	27,200	23,900
26	1,520	1,610	24,400	21,400
27	1,510	1,930	29,200	25,700
28	1,510	2,050	31,000	27,300
29	1,490	1,950	29,100	25,700
30	1,470	1,830	26,900	23,700
令和 元（概数）	1,450	1,990	28,900	25,500

資料：農林水産省統計部「果樹生産出荷統計」（2及び3の統計表において同じ。）

2 かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

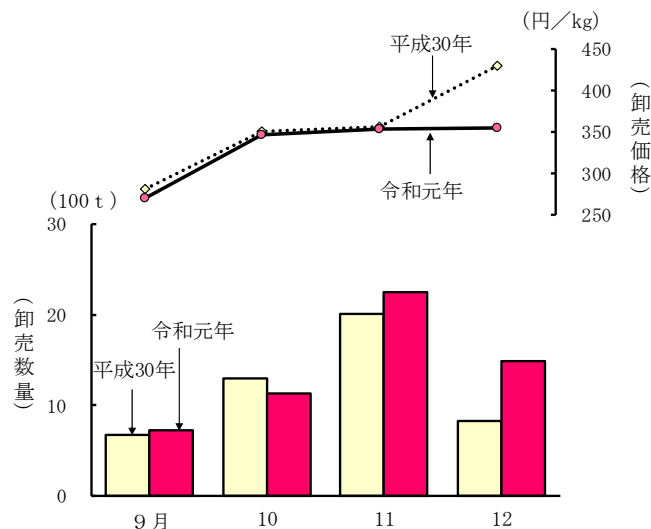
区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 22 年産	22,400	846	189,400	155,100
23	22,100	939	207,500	170,300
24	21,900	1,160	253,800	209,300
25	21,600	994	214,700	177,400
26	21,300	1,130	240,600	198,900
27	20,800	1,160	242,000	198,600
28	20,400	1,140	232,900	191,500
29	19,800	1,140	224,900	186,400
30	19,100	1,090	208,000	172,200
令和 元（概数）	18,900	1,100	208,200	175,300

3 くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

区 分	結果樹面積	10a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t
平成 22 年産	21,700	108	23,500	17,100
23	21,400	89	19,100	13,800
24	21,000	100	20,900	15,300
25	20,600	102	21,000	15,500
26	20,200	106	21,400	16,000
27	19,800	82	16,300	11,800
28	19,300	85	16,500	12,100
29	18,800	99	18,700	14,500
30	18,300	90	16,500	13,000
令和 元（概数）	17,800	88	15,700	12,500

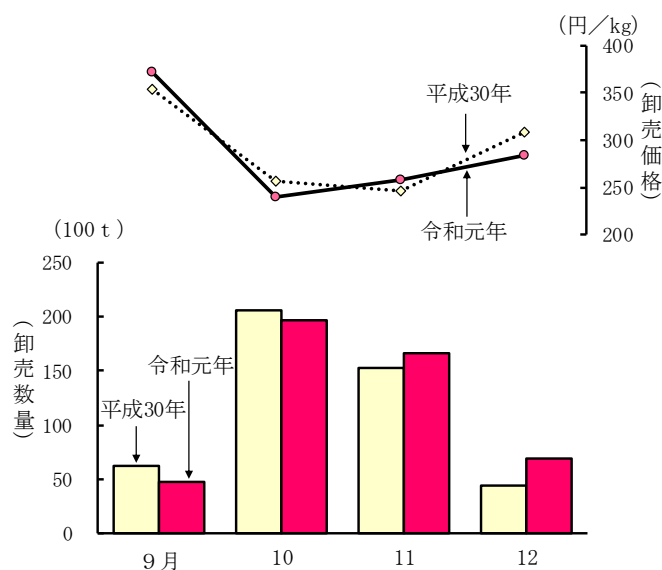
◎ 関連データ

1 西洋なしの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）

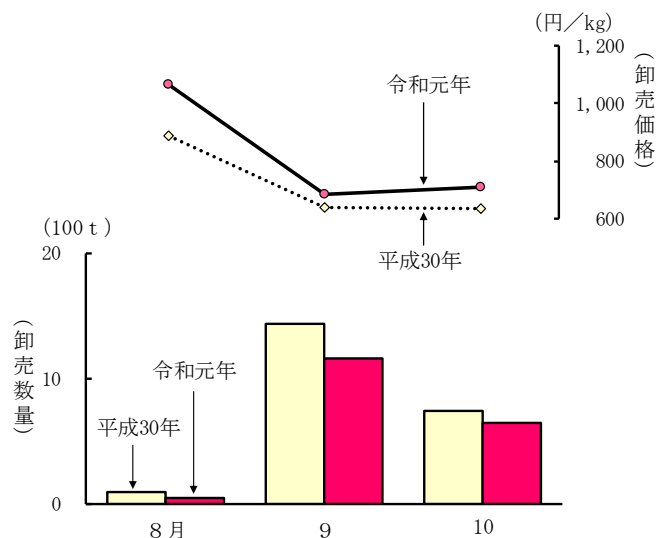


資料：農林水産省統計部「青果物卸売市場調査（日別調査）」（2及び3のグラフにおいて同じ。）
 注：日別調査は、14都市（札幌市、仙台市、東京都、横浜市、金沢市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、高松市、北九州市、福岡市、沖縄県）の中央卸売市場に所在する全ての青果物卸売会社を対象とした調査である。（2及び3のグラフにおいて同じ。）。

2 かきの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



3 くりの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場）



【調査結果】

1 西洋なし

(1) 結果樹面積は1,450haで、前年産に比べ20ha（1%）減少した。

(2) 10a当たり収量は1,990kgで、前年産に比べ160kg（9%）上回った。

これは、台風等による影響が少なく、9月～10月上旬の適度な降雨や日照時間により、果実の肥大が順調で大玉傾向となったためである。

(3) 収穫量は2万8,900t、出荷量は2万5,500tで、前年産に比べそれぞれ2,000t（7%）、1,800t（8%）増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、山形県が全国の約7割を占めている。

図2 西洋なしの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

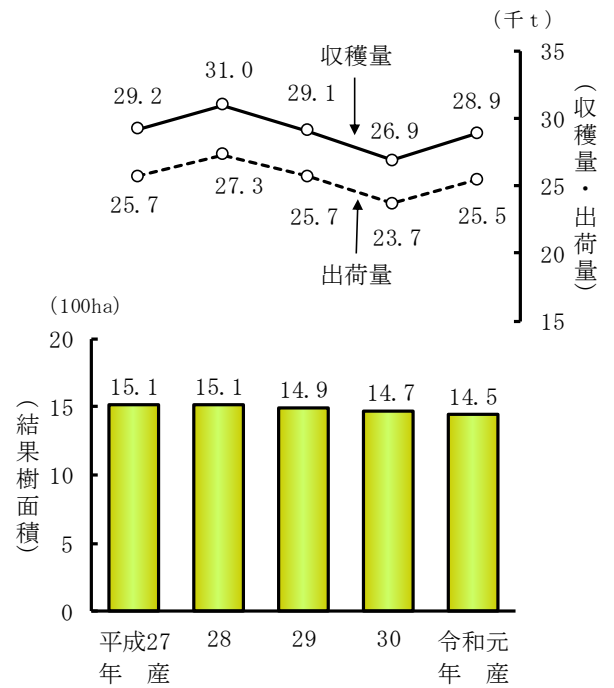
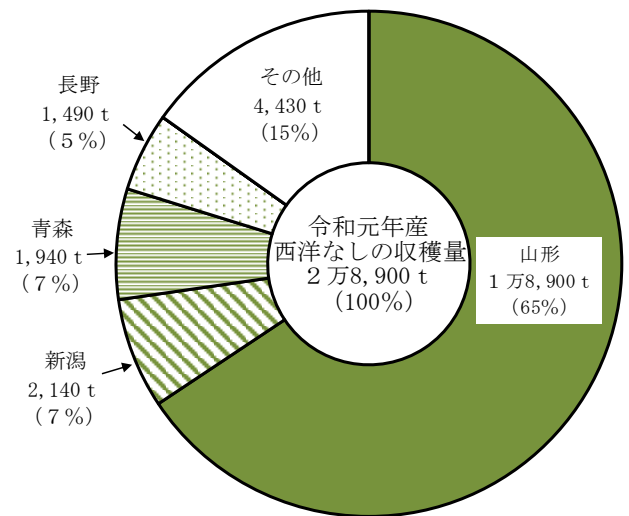


図3 西洋なしの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表1 令和元年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
西洋なし	1,450	1,990	28,900	25,500	99	109	107	108

2 かき

(1) 結果樹面積は1万8,900haで、前年産に比べ200ha（1%）減少した。

(2) 10a当たり収量は1,100kgで、前年産に比べ10kg（1%）上回った。

(3) 収穫量は20万8,200tで前年産並みとなり、出荷量は17万5,300tで、前年産に比べ、3,100t（2%）増加した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が21%、奈良県が15%、福岡県が8%、岐阜県が7%、愛知県が5%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図4 かきの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（全国）

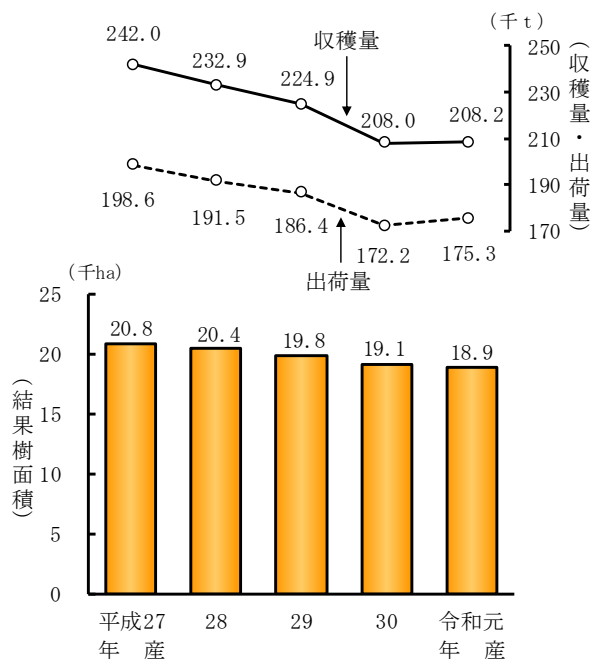


図5 かきの都道府県別収穫量

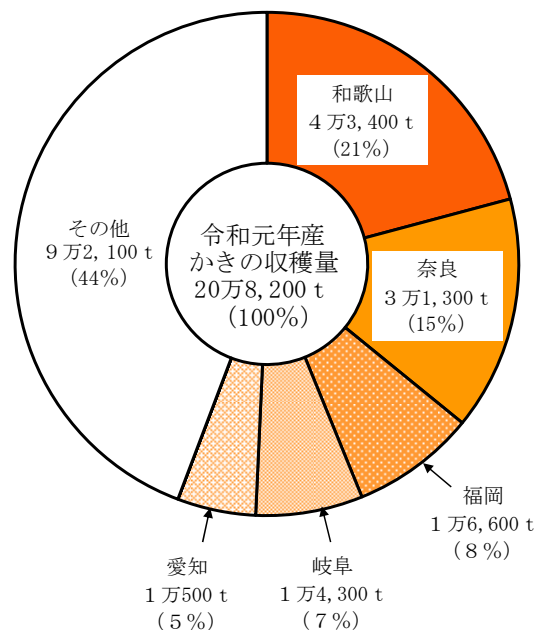


表2 令和元年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量（全国）

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
かき	ha	kg	t	t	%	%	%	%
	18,900	1,100	208,200	175,300	99	101	100	102

3 くり

(1) 結果樹面積は1万7,800haで、前年産に比べ500ha(3%)減少した。

これは、高齢化による労力不足に伴う廃園があったこと等による。

(2) 10a当たり収量は88kgで、前年産に比べ2kg(2%)下回った。

(3) 収穫量は1万5,700t、出荷量は1万2,500tで、前年産に比べそれぞれ800t(5%)、500t(4%)減少した。

(4) 都道府県別の収穫量割合は、茨城県が20%、熊本県が18%、愛媛県が9%、岐阜県が5%、宮崎県が4%となっており、この5県で全国の約6割を占めている。

図6 くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移(全国)

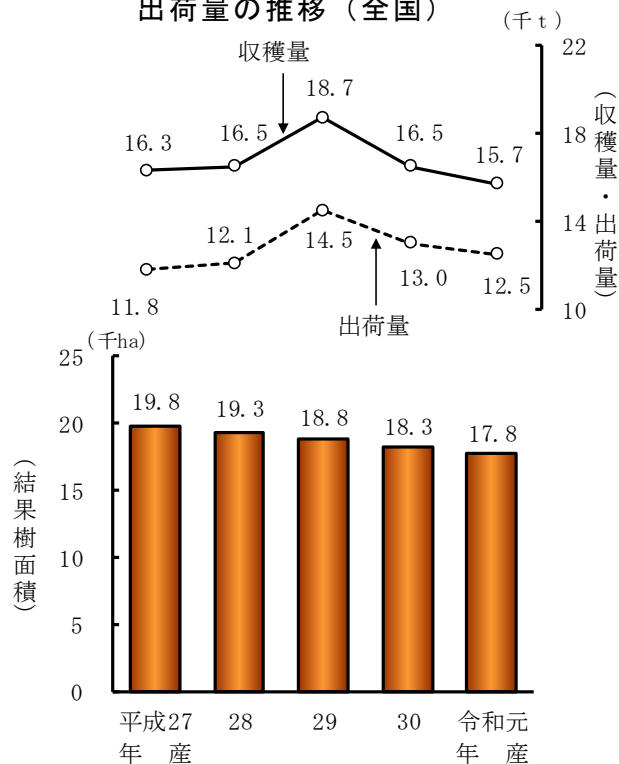
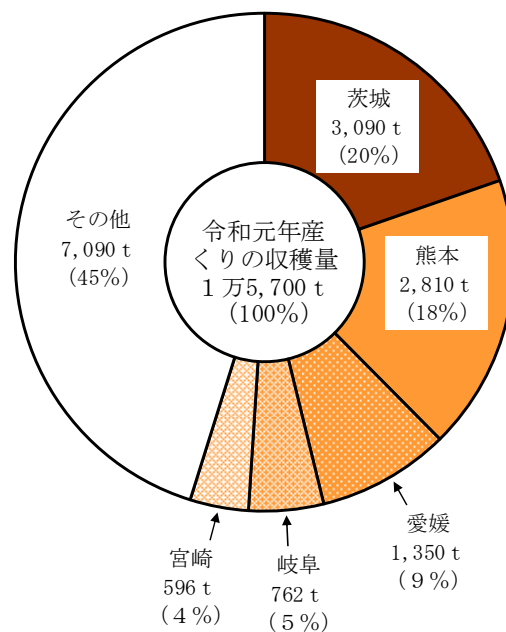


図7 くりの都道府県別収穫量



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表3 令和元年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量(全国)

品目	結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10a当たり収	収穫量	出荷量
く	ha	kg	t	t	%	%	%	%
り	17,800	88	15,700	12,500	97	98	95	96

【統計表】

1 令和元年産西洋なしの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	1,450	1,990	28,900	25,500	99	109	107	108
うち 青 森	130	1,490	1,940	1,570	98	107	105	105
山 形	846	2,230	18,900	16,700	99	108	107	107
福 島	36	1,760	634	568	97	102	100	100
新 潟	105	2,040	2,140	1,880	98	131	128	128
長 野	90	1,650	1,490	1,370	97	99	96	98

注：調査は、平成28年（全国調査年）の全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した（2及び3の統計表において同じ。）。

2 令和元年産かきの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	18,900	1,100	208,200	175,300	99	101	100	102
うち 宮 城	313	278	870	305	98	87	85	79
山 形	808	969	7,830	6,370	98	116	114	114
福 島	1,010	876	8,850	7,490	100	95	95	95
茨 城	372	681	2,530	2,230	99	82	82	82
新 潟	643	1,580	10,200	9,380	100	105	105	105
富 山	257	709	1,820	1,300	98	109	106	105
石 川	287	412	1,180	732	99	103	102	103
福 井	132	634	837	561	99	90	88	82
山 梨	534	839	4,480	3,790	98	61	60	60
長 野	659	1,460	9,620	8,790	100	103	103	107
岐 阜	1,230	1,160	14,300	12,900	99	104	103	103
静 岡	409	768	3,140	1,530	97	72	69	61
愛 知	1,070	981	10,500	9,070	96	80	78	86
三 重	367	766	2,810	1,770	96	69	66	66
奈 良	1,790	1,750	31,300	29,100	99	111	111	111
和 歌 山	2,510	1,730	43,400	39,200	99	112	111	111
鳥 取	251	863	2,170	1,720	97	97	95	95
島 根	300	783	2,350	1,880	97	117	114	117
岡 山	381	661	2,520	1,380	99	104	103	101
広 島	369	621	2,290	866	100	88	88	88
香 川	170	625	1,060	814	98	90	88	88
愛 媛	589	1,410	8,300	7,320	97	102	99	100
福 岡	1,220	1,360	16,600	15,100	98	107	104	105
熊 本	348	701	2,440	2,070	97	127	124	127

3 令和元年産くりの結果樹面積、10a当たり収量、収穫量及び出荷量

全 国 都 道 府 県	結果樹面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量	対 前 年 産 比			
					結果樹 面 積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	出 荷 量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	17,800	88	15,700	12,500	97	98	95	96
うち 秋 田	189	83	157	56	89	112	99	100
茨 城	3,320	93	3,090	2,840	97	72	70	71
栃 木	482	94	453	333	96	86	83	83
埼 玉	654	84	549	440	98	85	83	86
千 葉	391	46	180	130	98	55	54	54
東 京	418	65	272	216	98	92	90	91
神 奈 川	418	80	334	269	98	90	88	88
石 川	131	86	113	87	98	104	103	100
長 野	242	218	528	476	100	89	89	92
岐 阜	428	178	762	616	100	114	115	117
静 岡	227	99	225	135	94	93	88	88
京 都	384	69	265	185	93	128	118	116
大 阪	137	76	104	81	99	138	137	137
兵 庫	499	73	364	300	98	118	116	120
島 根	94	52	49	27	97	124	120	135
岡 山	320	79	253	145	99	122	120	115
山 口	707	73	516	382	98	111	109	124
香 川	52	58	30	16	100	132	130	145
愛 媛	2,070	65	1,350	1,140	100	155	155	155
福 岡	217	88	191	143	98	102	100	101
熊 本	2,380	118	2,810	2,530	96	113	109	109
大 分	408	84	343	282	100	114	113	114
宮 崎	754	79	596	521	98	122	119	120

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

全ての都道府県を調査対象とする全国調査を6年ごとに実施しており（直近では平成26年産）、全国調査以外の年に当たる本年産にあつては、調査対象品目ごとに、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積（平成28年）のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

(2) 調査対象者の選定

ア 関係団体調査（全数調査）

主産県において、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が8割に満たない都道府県については、2015年農林業センサスにおいて、調査対象品目を販売目的で栽培し、関係団体以外に出荷した農林業経営体から、品目別作付面積の規模に比例した確率比例抽出法により抽出をした。

標本の大きさ（標本経営体数）については、全国の目標精度（2～3%）が確保されるよう、調査対象品目の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して設定した10a当たり収量に関する目標精度（おおむね5%程度）及び団体シェアの割合等に基づき、必要な標本経営体数を算出した。

(3) 調査対象者数

	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
西洋なし	96	89	92.7	5,015	303	6.0	212	70.0
かき	200	191	95.5	25,781	2,031	7.9	1,456	71.7
くり	118	110	93.2	14,263	2,214	15.5	1,422	64.2

注：有効回収数とは、集計に用いた標本経営体及び関係団体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった標本経営体等は含まれていない。

3 調査事項

(1) 関係団体調査

調査対象品目の結果樹面積及び出荷量

(2) 標本経営体調査

調査対象品目の結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品目	主たる収穫期間
西洋なし	令和元年9月～10月
かき	令和元年9月～12月
くり	令和元年8月～10月

5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

(1) 都道府県値

ア 結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

イ 収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完している。

ウ 出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり出荷量等を基に算出している。

(2) 全国値

本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国調査を行った平成26年産の調査結果に基づき、次により推計した。

ア 結果樹面積

$$\text{全国値} = \text{結果樹面積の主産県値} + \frac{\text{結果樹面積の主産県値}}{\text{栽培面積の主産県値}} \times (\text{栽培面積の全国値} - \text{栽培面積の主産県値})$$

(注) 「栽培面積」は、農林水産省統計部が令和元年10月に公表した「令和元年果樹及び茶栽培面積（7月15日現在）」による。

イ 収穫量及び出荷量

$$\text{全国値} = \frac{\text{平成26年産の全国値} \times \text{当年産の主産県値}}{\text{平成26年産の主産県値}}$$

(注) 全国調査を行った平成26年産の調査結果による。

7 実績精度

本調査結果（主産県計）の10a当たり収量を指標とした実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

区 分	標準誤差率(%)
西洋なし	2.0
か き	1.1
く り	2.4

8 用語の解説

- (1) 栽培面積とは、調査日現在において、複数年にわたって収穫を行うことができる永年性作物の栽培に利用している面積をいう。
- (2) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (3) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (4) 出荷量とは、収穫量のうち、生食用、加工用として販売した量をいい、生産者が自家消費した量及び種子用、飼料用として販売したものは含めない。

9 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10 万)	5 桁 (1 万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁 (下から)		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前 (原数)	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値 (統計数値)	123,500	12,300	1,230	123

(2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「令和元年産西洋なし、かき、くりの結
果樹面積、収穫量及び出荷量」(農林水産省)による旨を記載してください。

10 その他

この資料の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載(令和2年
12月予定)するとともに、その後刊行する『令和元年産果樹生産出荷統計』に掲載する。
なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【<https://www.maff.go.jp/j/tokei/>】
この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」
の「作況調査(果樹)」で御覧いただけます。
【https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y8】

【関連リンク】

果樹関係ページ:農林水産省>組織別から探す>生産局>園芸作物(野菜・果樹・花き)
>果樹のページ
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針:農林水産省>組織別から探す>生産局>園芸作物(野菜・果樹・花き)
>果樹のページ>果樹施策の概要
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

お問合せ先

- ◎本統計調査結果について
農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 園芸統計班
電話: (代表) 03-3502-8111 内線3680
(直通) 03-6744-2044
FAX: 03-5511-8771
- ◎農林水産統計全般について
農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話: (代表) 03-3502-8111 内線3589
(直通) 03-6744-2037
FAX: 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>